

9

東海地震注意情報が発表されたら？ 警戒宣言が発令されたら？

東海地震注意情報が発表されたとき、警戒宣言が発令されたとき、私たちの身の回りはどうなるのか。

警戒宣言が発令されると、皆一斉に準備行動を起こすため、あちこちで大変な混乱が起こることが予想されます。私たちの身近なところではどうなるのか、社会の動きをよく理解して、素早く安全に行動することが大切です。



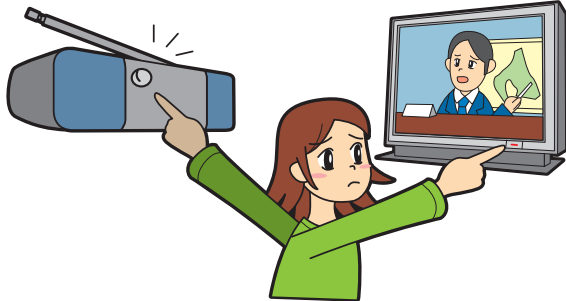
1) 社会状況

	東海地震注意情報の発表時	警戒宣言発令時
電気・ガス・水道	使用可能 (水道水は溜めておく)	使用できるができるだけ使わない
電話	使用可能 (ただし、利用者が急増すると通話規制がとられる)	使用可能 (利用者が急増し、通信規制がかかる可能性大)
バス	原則として平常どおり運行	最寄の安全なバス停等まで走行し、運行中止
鉄道	原則として平常どおり運行	最寄りの安全な駅まで運行し停車
道路	平常どおり通行可	避難路などを確保するため、 幹線道路などで交通規制(車は徐行運転)
百貨店	部分的または段階的に営業中止	営業中止 (ただし、一定の耐震性がある店舗は営業継続可)
コンビニ等	平常どおり営業	一定の耐震性が確保されている店舗は営業継続
銀行	平常どおり営業	営業中止 (ただし、一部のATMは営業継続)
病院等	原則として外来診療制限 (急患を除く)	外来診療中止 (急患を除く)
学校・幼稚園	避難対象地区では児童等の安全を考慮し、 帰宅または保護者に引き渡す (養護学校等では、より前の時点で帰宅等)	閉校、閉園し、児童等は帰宅又は保護者に引き渡す。 (一部の教職員は待機)

2) わたしたちは何をやるの？

テレビやラジオで情報確認

- ・正確な情報を知ることが大切。
- ・デマに注意。



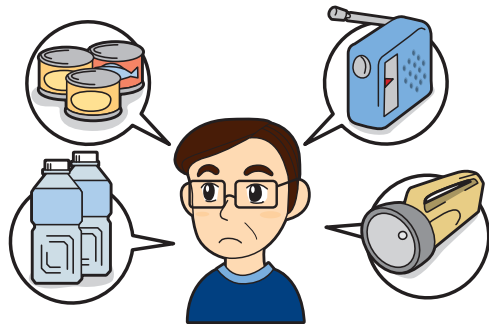
児童・生徒の引き取り(注意情報)

- ・日頃から学校と連絡を取り合っておく。



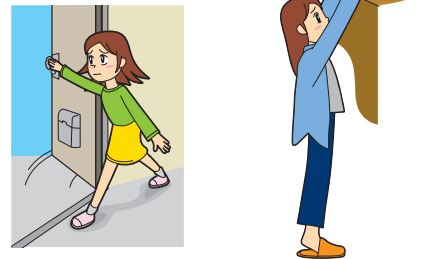
非常持出品を再点検(注意情報)

- ・チェックリスト(6・7ページ)を活用して再確認。



家の中を再点検(注意情報)

- ・家族であらかじめ決めてある役割、計画に従って行動。
- ・高いところに物を置いてないか。
- ・家具や食器棚の固定は大丈夫か。
- ・出入口の確保も忘れずに。



あらかじめ指定されている危険地域はすばやく避難(警戒宣言)

- ・津波、山崩れ、崖崩れなどの危険予想地域では、速やかに避難を。
- ・その他の地域では、家の内外の安全なところで地震発生に備える。



火を出さない対策を(警戒宣言)

- ・できるだけ火を使わない。
- ・やむを得ず火を使う時は、そばにいて十分注意。
- ・ガスの元栓を締め、プロパンガスはボンベのバルブも締める。
- ・必要のない電気器具のコンセントは抜き、外出するときは、ブレーカーを切る。引火の恐れのあるものは、安全な場所へ。

